

聖パウロ三木顕彰碑の改修

はじめに

安土城址を間近に望む「セミナーヨ跡公園」の最奥に、日本二十六聖人の一人である「聖パウロ三木」の顕彰碑があります。1981年に安土城築城400年祭が行われたのを機に、セミナーヨ創建400年を記念して建立されました。顕彰碑建立の式典当日は、バチカン大使をお招きし、また、長崎の日本二十六聖人記念館からは、聖パウロ三木の聖遺物であるご遺骨を当地に迎えて行われました。

しかしその顕彰碑も40年に及ぶ風雪に晒され浸食がすすみ、碑文も読みづらい状態にまで傷んでいました。

滋賀ブロックでは、行事のための委員会が置かれています。その一つとして「安土セミナーヨ記念ミサ実行委員会」があり、毎年の行事として「セミナーヨ跡公園」でのミサを、司教様をお招きして執り行ってきました。ところが新型コロナウイルス感染症の蔓延に見舞われ、日頃の主日ミサも通常に実施できない状態となり、当然、「セミナーヨ記念ミサ」も実施を見送らねばならない状況となったわけですね。「実行委員会」も休止の状態に追い

込まれました。そのような中、ミサが実施できないならば、何かこの間にできることがあるのではないかと声があがりました。普段できていなかったことに取り組むことができる好機と捉えられるのではないかと、「気づき」が与えられたのです。

祝福除幕式

改修を終え新調された「顕彰碑」の祝福・除幕式は今年2月4日(土)、二十六聖人の祝日の前日、セミナーヨ跡公園で執り行われました。

当日はこの季節としては春を思わせるような好日で、風もなく、数日前に降り積もった雪の解け残る中、滋賀ブロックの6教会から23名ずつの代表が参集して、午前11時から開式となりました。

地元代表と信徒代表による除幕式の後、滋賀ブロックの小立花神父様とソ神父様の司式で「祝福式」が執り行われ



ました。来賓には近江八幡市総合政策部文化振興課長や、地元の自治会の代表にもお越しいただきました。



顕彰碑改修の経緯

改修は業者を探すところからのスタートでした。公園内には記念となる「碑」が数か所設置されています。これらの碑を設置した業者なら、当然改修工事もスムーズに進展するのではないかと、地元の方や近江八幡市に問い合わせました。しかし、以前の設置業者が判明しないまままで時間が経過していききました。

そんな折、彦根教会の司祭館の建設業者に問い合わせたところ、対処できることが判明し、相談のうえで依頼を進めることとなりました。地元住民の皆様や近江八幡市のご理解を得るとともに、競争見積もりも取得して施工業者が決まり、工

事実施の運びとなりました。

ところが、施工業者より聖パウロ三木の肖像原画があるかとの問い合わせが舞い込みました。碑文は現物を確認して書き起こすことが可能だが、現状のものは傷みで「加工用の原稿」としては使えないとのこと。実行委員にも相談し、81年当時の原稿を探しました。委員の中には、顕彰碑を新設した折に関わられた方もおられ、手を尽くして探してくださいました。長浜教会からは、「ガラスに描かれた肖像画」があると連絡をいただきましたが、これも原稿としては使用できないことが分かって断念。ローマのイエズス会本部にあるレリーフから写したのではないかとのお話もあり、連絡を取ることが検討していました。

そのような中、長崎の日本二十六聖人記念館には彫刻家・舟越保武氏による二十六聖人の彫像とその原画もあると分かり、早速、記念館に電話で相談しました。著作権上の許可があれば、舟越氏の原画を使用できるのではとご案内いただきました。早速、権利者であるご遺族に手紙をお送りしました。舟越家ではこの件について親族会議まで開いてくださいました。彫刻家であるご長男様の「作品としての『彫刻』が、その原画とはいえレリーフとして使用されることは、同

じ彫刻家として、恐らく父も賛同し難いのではないかとのご回答がありました。芸術を志す方の生き方として、全く同感の意で、この件をあきらめました。そんな折、委員会の苦慮をくみ取ってくださった施工業者から、「何とか復元できる」との連絡があり、欣喜したものです。これで、顕彰碑が改修できる。しかも、81年当時を再現して復刻できると、安土に来られることがありましたら、ぜひセミナーヨ跡公園にお立ち寄りください、このような経緯で改修しました記念碑をご覧ください。

安土セミナーヨ記念ミサ実行委員会

彦根教会 中川通一



写真撮影・唐崎教会 今井章夫
新しくなった記念碑です。碑文の内容をご紹介するスペースがありませんので、ぜひ現地に行ってお読みください。

過去の京都教区時報を振り返ってみました。

1981年8月1日発行の74号2ページに、「種は時かれたが―安土セミナーオ跡祝別」のタイトルの記事があります。

「5月31日、ガスパリ教皇大使、田中司教、古屋司教、安土町長出席のもと、二十六聖人記念館長結城了悟神父の『安土の屏風がローマへ行く』との講話、記念碑除幕式、ミサが行われた」という内容です。

また、2016年7月1日発行464号に「安土セミナーヨ公園記念ミサ」のタイトルの記事もあります。

「今年、近江八幡市によりセミナーヨ公園の改修も行われ、敷石やベンチも整備された。4月29日、滋賀ブロック主催にてミサが行われた。また、整備された公園を大塚司教に祝福していただいた」という内容です。1580年にイエズス会宣教師オルガンチノによって建てられた日本最初のキリシタン神学校である安土セミナーヨの跡地が大切にされ、遠い時代に思いを馳せ、祈りを捧げることのできる場所であり続けますように。

広報委員会

